

盛岡市商業振興ビジョン改訂（案）に係るパブリックコメント実施結果

- 1 意見募集期間 令和6年2月16日（金）から3月6日（水）まで
- 2 意見募集方法 郵便、ファクス、持参及び盛岡市ホームページの応募フォーム
- 3 受付意見数 5件（2団体）
- 4 反映区分等
 

A：計画等に盛り込むもの	1件
B：計画等に盛り込み済みのもの	0件
C：計画等に盛り込まないもの	0件
D：その他要望・意見・感想等	4件

5 寄せられた意見と市の考え方

No.	寄せられた意見	市の考え方	反映区分
1	<p><b>【第2章 盛岡市の商業の現状と課題】</b></p> <p>盛岡市商業振興ビジョン改訂（案）内31ページ「内部要因と外部要因を分けた課題の整理」について、“商店街などの昔からの商業集積が失われてきている”のは自然とそうやってきたわけではなくこれまでの行政施策の結果生じた事態であるというように理解・整理すべきものであると当方では考えます。</p>	<p>SWOT分析において、「域外資本による大規模小売店舗の立地」を脅威（外部要因）として位置づけております。これは、経営者の高齢化や後継者不足、モータリゼーションの進展やインターネットショッピングの普及、高速道路網の整備による物流の発展などの社会経済の大きな変化に伴う複合的な要素の影響によるものと捉えており、御指摘のとおり、大規模小売店舗法の廃止（平成12年）による規制緩和のほか、土地利用の変化や都市施設の整備などの影響もあるものと認識しておりますことから、一部表記を修正いたします。</p>	A
2	<p>盛岡は歴史的な経緯もあるので「商業都市でやっていくんだ、それで食べていくのだ。ニューヨーク・タイムズで指摘があったまちの強みも源泉はそこだ。」といった商業やサービス業に対するメッセージ性が必要であると考えます。</p>	<p>中間見直しのポイント（P32）で述べているように、ニューヨーク・タイムズ紙で評価された、日常の生活に根付いた文化的側面という本市の魅力についても重視していきたいと考えており、アクションプランに掲げる新規事業に加え、商業・サービス事業者の皆様の声を伺い、必要な支援策を講じながら、メッセージ性を高めてまいります。</p>	D
3	<p>上記（No.1, 2）のほか、中心市街地活性化という観点で中心市街地をキチンと整備する、重点整備をする、といった取り組みを通じて郊外とは違うモノやサービスを扱っていけるようなまちづくりをサポートしていただくと幸いです。</p>	<p>中心市街地は盛岡市の「まちの顔」でありますことから、「第2期中心市街地活性化つながるまちづくりプラン」に基づき、まちづくりのサポートについて引き続き取り組んでまいります。</p>	D

4	<p><b>【第4章 実現のためのアクションプラン】</b>  「実現のためのアクションプラン」において、盛岡市の産業を牽引し、地域経済の活性化と地域の持続的な発展のために重要な担い手である中小企業の振興に関する計画策定について検討することに賛同します。</p>	<p>地域経済の活性化と地域の持続的発展に向けて、地元企業が育つ環境づくりを進めるため、分野や業種を超えた中小企業振興策のあり方について検討してまいります。</p>	D
5	<p><b>【第3章 目指す姿と基本方針】</b>  市内商店街は、商業機能に加え、地域住民の安心・安全な生活環境の提供、文化・歴史等の維持継承等により地域コミュニティに重要な役割を担っており、商店街が環境整備する施設は街の貴重なストックとなっている。目指す姿に掲げる商業集積の維持・強化と新規創業者の呼び込みに向け、既存のアーケード、街路灯、カラー舗装等、共同施設を適切に維持・管理できるよう、施設整備に対する支援方策について検討を望みます。</p>	<p>商店街の施設整備に関しては、現時点ではアクションプランには位置づけておりませんが、各商店街から御意見をお聞きしながら必要な支援策について引き続き検討してまいります。</p>	D